

連対馬の各実績
年 馬名(フェブラリーS着順) 全成績 GI実績 左ダート実績 重賞勝ち鞍 父

↑(注)GI実績は芝と指定交流=Jpn1を含む

武蔵野S 最先着馬の成績
年 馬名(武蔵野S着順) 人気 着順

みやこS 最先着馬の成績
年 馬名(みやこS着順) 人気 着順

マイルCS南部杯 最先着馬の成績
年 馬名(マイルCS南部杯着順) 人気 着順

JBCクラシック 最先着馬の成績
年 馬名(JBCクラシック着順) 人気 着順

帝王賞 最先着馬の成績
年 馬名(帝王賞着順) 人気 着順

フェブラリーS 最先着馬の成績
年 馬名(フェブラリーS着順) 人気 着順

GI

前走地方交流GI出走馬が好調。馬体重マイナス馬など消し材料重視

第24回 チャンピオンズカップ

12月3日(日)

中京ダート1800m/3歳以上/国際/指定/定量

過去10年 平均人気 優勝馬▶4.5 連対馬▶4.1 波乱度▶中

(注)このレースは12~21年の10年を対象としています

過去10年 騎手別成績

- M.デムーロ [2・0・0・6]
●C.ルメール [1・2・0・5]
●戸崎圭太 [1・1・0・5]
●幸英明 [1・0・2・4]
●福永祐一 [0・0・0・7]

デムーロ2勝、ルメール3連対。地方出身の戸崎も2連対だが岩田康は[0・0・1・4]と連対なし。武豊[0・2・2・5]、R.ムーア[1・0・0・5]、川田[1・0・0・3]、大野[1・0・1・3]。

過去10年 人気別成績

- 1番人気 [2・3・1・4]
●2番人気 [2・0・0・8]
●3番人気 [1・4・3・2]
●6番人気 [2・1・0・7]
●8番人気 [1・2・0・7]

1番人気は過去22年で[8・6・3・5]も近10年は不調気味。近年1番人気を上回るのが3着以内8頭の3番人気。全22回で1~14人気までに好走歴があり、人気薄=消しとはしにくいレースでもある。

過去10年 前走別成績

- JBCクラシック [4・4・3・32]
●マイルCS南部杯 [2・2・1・6]
●日本テレビ盃 [1・0・0・1]
●みやこS [1・2・4・35]
●武蔵野S [1・2・0・24]

1カ月前のJBCクラシックが4勝&3着以内10頭。複勝率が高いのはマイルCS南部杯と日本テレビ盃。JBCスプリント[0・0・1・4]、JBCレディーズC[1・0・0・2]。前走芝出走馬は4頭全滅。

年 着順 枠番 馬番 馬名 性別 斤量 人気 単勝 騎手 調教師 タイム(着差) 馬体重(増減) 通過順 前走 人気 着順

2012 1 7 14 ニホンピロアワーズ 牡5 57 6 19.9 酒井学 大橋勇樹 1.48.8 536(0) 3-4-4-3 みやこS(GIII) 3 2

2013 1 6 12 ベルシャザール 牡5 57 3 8.4 C.ルメール 松田国英 1.50.4 538(+2) 13-9-8-6 武蔵野S(GIII) 1 1

2014 1 4 8 ホッコータルマエ 牡5 57 2 5.9 幸英明 西浦勝一 1.51.0 508(+2) 2-2-2-2 JBCクラシック(Jpn1) 4 4

2015 1 2 4 サンビスタ 牝6 55 12 66.4 M.デムーロ 角居勝彦 1.50.4 476(+3) 9-6-8-6 JBCレディーズC(Jpn1) 1 2

2016 1 5 8 サウンドトゥルー 7 6 15.9 大野拓弥 高木登 1.50.1 474(0) 14-14-14-13 JBCクラシック(Jpn1) 5 3

2017 1 5 9 ゴールドドリーム 牡4 57 8 13.0 R.ムーア 平田修 1.50.1 538(+14) 9-10-11-11 南部杯(Jpn1) 2 5

2018 1 2 2 ルヴァンスレーヴ 牡3 56 1 1.9 M.デムーロ 萩原清 1.50.1 490(+2) 2-2-3-3 南部杯(Jpn1) 2 1

2019 1 3 5 クリンベリル 牡3 55 2 4.4 川田将雅 音無秀孝 R1.48.5 550(+11) 3-3-4-4 日本テレビ盃(JpnII) 1 1

2020 1 6 11 チュウワウイザード 牡5 57 4 13.3 戸崎圭太 大久保龍志 1.49.3 486(+3) 8-7-5-4 JBCクラシック(Jpn1) 3 3

2021 1 3 6 テーオーケインズ 牡4 57 1 3.3 松山弘平 高柳大輔 1.49.7 498(+6) 5-5-6-6 JBCクラシック(GI) 1 4

(注)13年までジャパンカップダート(阪神1800m)